LGBTQ+当事者の声を聞く

自分らしく生きると決めるまで



おおくぼ あきら
大久保 暁さん（43歳）

1981年生まれ。高知県高知市出身。中・高校は女子校に通い、大阪体育大学を卒業後、地元の高知県で体育教師として約9年勤める。性転換後に退職し、現在『暁project合同会社』代表として、LGBTQ（セクシュアルマイノリティ）や人権問題に関する講演や啓発活動を行っている。

自分の心にフタをするきっかけになった、小学6年生の時の初恋

小学校に入学した頃から「かわいらしい」と言われるよりも「カッコいい」と言われる方が嬉しかった僕ですが、小学6年生の時に女の子を好きになったんです。最初にそのことを話した友だちは、「そうなんだね」と普通に受け入れてくれました。否定されることもなく、なんだか安心して、「みんなにも話して大丈夫なんだ」と思いました。でも、他の子に話したとき、「レズじゃないの？」とからかわれてショックでした。そのとき初めて、「女の子なのに、女の子を好きになるのは変なんだ」と気付いてしまい、本当の自分の気持ちを押し殺すようになりました。中学校では、セーラー服を着ることや、胸の膨らみや身体が女性として成長することが苦痛で、いつも猫背で過ごしていました。友だちの恋愛話に好きでもない男の子の名前を出したりと、無理に「女子」を演じることがつらかったです。

初めて心開けたセクシュアルマイノリティのコミュニティとの出会い

教師になるために高知に戻り、その頃ネットで知ったセクシュアルマイノリティのコミュニティに参加してみると、同性愛者やトランスジェンダー、生まれた性別から戸籍を変えた人に出会ったんです。その方たちと交流していく中で、自分がトランスジェンダーなんだと気が付きました。仲間に出会えてホッとしたと同時に新しい世界の扉が開きました。

一番悩んだ両親へのカミングアウト



このまま本音を隠しながら生きていくことが本当に良いことなのだろうかと思いました。そんな中、親に自分がセクシュアルマイノリティだと伝えることは一番苦しかったです。性転換をすることを母親に伝えると、最初は「理解ができない」と言われました。一方、東京で美容師をしている兄は理解があり「俺からも親に言っておくよ」と応援してくれたことに安心しました。30歳で性転換手術を受けて、31歳で戸籍を女性から男性に変更しました。両親には「ホルモン注射するからね」「手術するから」と報告を続けていると、「体は大丈夫なの？」「仕事はどうするの？」と、これからの将来のことを心配しながらも、私の意志を尊重してくれるようになりました。



自分らしく生きることで取り戻せた自分一人ひとりが一歩踏み出す行動を

今は、性転換後に知り合った妻と結婚（※1）をして、1才の息子と5匹の猫と暮らしています。自分が結婚をして家庭を持つ未来を想像していなかったので、とても幸せです。LGBTQ+に限らず、誰もが自分らしく生きていける社会になればと思っています。みんなが自分以外の人の違いを認めて、大切にできるように変わっていかないと。また、相談できる人がいるかどうかも大事です。レインボーフラッグはLGBTQ+のセクシュアルマイノリティのシンボル。例えば、レインボーのステッカーを携帯に貼ったり、レインボーカラーのストラップをつけたりすることで、「私はマイノリティの方たちを理解し、応援しています」ということが外から見えれば、孤独に悩んでいる人に手を差し伸べられると思います。

※1：性転換手術をすれば戸籍を変更でき、法的に婚姻届や出生届の提出が可能。

あなたはそのままで大丈夫！　違いを否定しないで。

人と違うことで「自分はおかしいのではないか」と、思っている子がいるかもしれません。でも、あなたは全然おかしくないし、無理に変わる必要はありません。あなたはあなたのままで良いんです。そして、自分は世間の大多数の方だと感じている君へ。誰かが人と違うことを笑わないでください。自分とは違うなと感じたら、よりその人のことを知ってみようとしてください。たくさん話してみてほしい。いろいろな人の価値観を受け止め、「なんでそう思うのか」に心を寄り添える人になってください。



こんなふうに思っている友だちもいるんだ



性別と違うトイレを使うことがとてもストレス‥
体育や部活はどうして男女一緒にできないの？
どうして制服は男女でデザインが違うの!?
「男子だから」「女子だから」という言葉がイヤ！
恋愛対象はどうして異性だけなの？同性が好きだと普通じゃないの？



カミングアウトされたら

LGBTQ+の当事者であることを自分から伝えることをカミングアウトと言います。打ち明けられたということはあなたが信頼されているということです。どうしてほしいのか、何に困っているのか一緒に考え、「あなたのことを大切に思っている」ということを伝えましょう。

アウティングは絶対にダメ！

本人の同意なく、性のあり方を別の人に伝えることは、重大な人権侵害です。本人の気持ちと反対に、他の人に言いふらしたり、SNSに書き込むことは、相手の信頼を裏切り、心を傷つけ、いのちを奪うことにもつながりますので、絶対にしてはいけません。

相談窓口

よりそいホットライン
セクシュアルマイノリティ専門ライン
（(一社)社会的包摂サポートセンター）
0120-279-338（ガイダンスが流れたら4を押す）
好きになる性や自分が認識する性についてお悩みの方へ

24時間子供SOSダイヤル（文部科学省）
0120-0-78310（通話料無料）
さまざまな悩みを名前を出さずに相談できます

電話教育相談「あすなろダイヤル」
（奈良県教育委員会）
0744-34-5560（通話料有料）
奈良県の電話相談窓口です

中・高校生対象SNS相談
「ならCocoroライン」（奈良県教育委員会）
LINEで「友だち登録」すると利用できます

「あなたのいばしょチャット相談」
（厚生労働省支援情報検索サイト登録窓口）
24時間365日、年齢や性別を問わず、無料、匿名で利用できるチャット相談窓口です

みんなの人権110番（法務省）
0570−003−110
差別やハラスメント、いじめなどさまざまな人権問題について相談できます